

平成30年度重点取組方針（案）

1 基本方向

- (1) 最重要課題である人口減少の克服や地方創生の実現に向け、本県の未来を切り拓いていくためには、教育分野における取組についても、一層推進していくことが重要。
- (2) 特に、本県を将来にわたり支える人材の育成や、高校生・大学生等の若者の県内就職や定着の促進に繋がる取組を、県内の企業や大学等とも連携して進めることが必要。
- (3) また、いじめの未然防止や、学校における働き方改革の推進も重要。
- (4) 平成30年度は、地域や本県産業を担う人材の育成や県内定住、還流を促進する取組をさらに強化するとともに、諸課題に対応するための教育環境の整備・充実を推進。

2 重点取組事項

(1) 地域や本県産業を担う人材の育成

- ① 「やまぐち型地域連携教育」を通じた、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりの推進や、学校を核とした人づくり・地域づくりに向けて、全ての公立小・中学校で導入済みのコミュニティ・スクールの取組の一層の充実と県立学校への導入を推進
- ② ふるさとやまぐちを愛する心を育て、定住意識の醸成につながるよう、明治150年を契機とするふるさと学習の推進等、郷土の理解や誇り等を育む教育を推進

- ③ 児童生徒が新たな時代の変化に対応し、自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、確かな学力の育成など、新学習指導要領に対応した教育を充実
- ④ 様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学びのニーズに対応するため、多部制定時制高校の設置を推進

(2) 若者の県内定着・還流の促進

- ① 高校生の県内就職促進や地域産業を担う将来のスペシャリストの育成を図るため、県内企業の情報発信やマッチングの強化、大学・地元企業等との連携強化による実践的な職業教育や、全国産業教育フェアの成功に向けた取組を推進
- ② 高校生が主体的な選択により行う県内大学等への進路選択を支援するため、県と大学等との連携強化や高大連携による相互交流を推進
- ③ 大学生等の県内就職・定着の促進に向け、COCプラス事業や「大学リーグやまぐち」との連携、県外大学との就職支援協定や高校卒業時の登録制度などを通じて、本県企業の特徴や魅力を学生に直接伝える機会を拡大
- ④ 障害のある生徒の自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

(3) 教育環境の整備・充実

- ① 児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの防止や早期発見、相談支援体制を充実
- ② 学校指導・運営体制の充実や、教員自身のワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、教員の長時間勤務の是正に向けた「学校における働き方改革」を推進
- ③ 多発する地震等の災害に備えた安心・安全な学校づくりを推進